



「わたしの 祈りの家」

アーク福音ミニストリー
牧師

植草榮一

わたしは彼らを、わたしの聖なる山に連れて行き、わたしの祈りの家で彼らを楽しませる。彼らの全焼のいけにえやその他のいけにえは、わたしの祭壇の上で受け入れられる。わたしの家は、すべての民の祈りの家と呼ばれるからだ。

(イザヤ書56章7節)

旧約聖書中の預言者イザヤの活躍していた時代、「わたしの家」とはエルサレムに建てられた「神殿」を指しています。新約聖書のマタイの福音書で、イエス様も宮きよめの時、商人たちを追い出すのにこの箇所を引いておられます。つまり「祈りの家」とは、神と交わる神聖な場所と言えます。東京プレーヤーセンターの役割も現代の「祈りの家」であると私には思われてなりません。しかも、毎日1年中365日、礼拝し、賛美し、祈りが捧げられているのですから。

祈りについて私には、忘れられない出来事があります。

「あなたの為にずっとお祈りしていました。」久しぶりに、それも5年ぶりに出席した集会の昼食の時、前に座っていた主催者の婦人から声をかけられました。「エッ」と言って暫く声が出な

かったのです。それまでの祈りは、教会でも、家でも自分の為に或いは自分の家族の為にだけ祈りというより、願いをして来ました。たった一度逢っただけの他人の私の為に、5年間も毎日祈ってくれていたなんて。にわかには信じられない出来事でした。「なぜですか」と言う私の問いに、その方はニコニコして、「あなたが神様のご用に用いられます様に」と言うのです。当時の私は母教会の役員はしていましたが、その様なことは思ってもいませんでした。

そんな私が現在の様になったのには、ただ一度の出会いで、見えないところで祈って下さっていた婦人の祈りに、神様が答えて下さった結果であると思われれます。勿論、私も「神様の役に立つ人間になる様に」それから祈り続けて来ました。

1%のクリスチャン人口を打破するためにも、あなたもわたしも、執り成しの祈りを忘れてはならないでしょう。すべての聖徒の為に、神の働きに従事している人の為に。

東京プレーヤーセンターを通して祈りの輪を広げて行きましょう。

TPCの活動目的

- (1)閉塞感のある日本のキリスト教会に元気を与える。
- (2)超教派として活動する。
- (3)毎日、礼拝を捧げ、祈り会を行う。
- (4)伝道、学びなどのために貸室を提供する。